

2026 年 7 月 6 日

沖縄県がん診療連携協議会

委員各位

幹事長

増田昌人

令和 7 年度第 1 回連携協議会以降の審議事項のその後について

＜令和 7 年度第 1 回連携協議会（5 月 9 日開催）＞

審議事項 1 「第 4 次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の進捗状況について
（ベンチマーク部会）

➡令和 7 年度第 4 回連携協議会において、中間評価をしていくことが決議された。

令和 8 年度第 1 回連携協議会では、中間評価の具体的な方法について審議を行い、
原案通り可決されている。

各専門部会において、それぞれの所掌分野について、協議を重ねている。

審議事項 2 北部・宮古・八重山医療圏におけるがん種ごとの診療目標について（離
島・へき地部会）

天野委員より、特に地域で実際に医療を受ける患者さん、ご家族の方の理解を得てい
ただくことが重要、患者会には個別に説明が必要。

2025 年 7 月 18 日、19 日にかけて、北部医療圏に対して、①名護市の渡具知市長、健康増進
課長ら 4 名に対して、北部医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（オスト
ミー協会やんばる友の会の会長以下 3 名）に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講
演会を行い、北部医療圏における診療目標を説明した。

2025 年 8 月 22 日、23 日には宮古医療圏に対して、①宮古島市の砂川副市長、市民生活部長ら 4 名に対して、宮古医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（まんま宮古、ゆうかぎの会）の 4 名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会（参加者 43 名、新聞社 3 社）を行い、宮古医療圏における診療目標を説明した。

2025 年 11 月 21 日（金）、22 日（土）には八重山医療圏に対して、①市民保健部長、保健福祉センター長に対して、八重山医療圏における診療目標を説明し、理解を得た、②患者会（ナネーズ・ナネーズ slow・やいまゆんたく会）の 7 名に対して、同様に説明を行った、③一般市民向け講演会（参加者 35 名）を行い、八重山医療圏における診療目標を説明した。

➡その後は、特になし

審議事項 3 「がん診療を行う医療施設一覧」掲載要件見直しについて（医療部会、ベンチマーク部会）

（1）令和 7 年度第 1 回連携協議会（以下、協議会）、資料 11-3 について、天野委員より、厚労省の文言にならい、6（1）に「心理的な障壁を取り除くことができるよう留意すること」を追記していただきたい、また、5 に「遺伝カウンセリングを行う体制を有すること。それが難しい場合は、他の遺伝カウンセリングを有する医療機関と連携する体制を整えること。」の文言を追記していただきたいとの意見があった。

『「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件』において、上記委員の意見の通りに修正を行った。

（2）令和 7 年度第 1 回協議会、資料 11-5 について、松永委員より、胃がんの外科的治療は 12 例以上ということだが、ハイ ボリュームセンターの件数は、30 例以上（※第 1 回協議会資料、P568 参照）となっていることについて指摘があったため、件数について、ワーキングの方で再検討することとなった。

胃がん WG で再度検討し、12 例から 15 例にした。

（3）令和 7 年度第 1 回協議会資料、11-8 について、戸板委員より日本放射線腫瘍学会認定施設 C とあるが、A と B も条件を満たしているので、C の文言は記載なしで良いのではとの意見があり、そのように修正することとなった。

上記委員の意見の通りに修正を行った。

沖縄県は、各医療機関に対して、掲載要件に準じたアンケート調査を行っている。

審議事項 4 各市町村に対する「若年がん患者等支援事業」への参加の働きかけについて（小児・AYA 部会、離島・へき地部会）

（1）原案通り、承認された

➡現在、この制度を導入していない 34 市町村に対して、依頼文書を送付した。

（2）玉城先生よりメディアをいれて発信した方が良いのではとの意見があり、発信方法

について検討することとした。

➡2026 年 3 月 19 日の第 4 回小児・AYA 部会において検討したが、特に妙案は出なかった。

<令和 7 年度第 2 回連携協議会（8 月 1 日開催）>

審議事項 1 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について

（1）報告：「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」の概要（ベンチマーク部会）

➡報告事項なので、特になし

（2）審議：医療機関の集約化と分散化に関する協議会の今後の方針（医療部会）

➡修正意見はなかったので、特になし

（3）審議：選定条件の見直し期間の短縮について（提案）（医療部会）

➡原案通り可決された。

2025 年 8 月 27 日付けで、連携協議会鈴木幹男議長から沖縄県保健医療介護部糸数公部長に、提案書（琉大西総第 309 号）を送付した。

2026 年 1 月 15 日に、沖縄県保健医療介護部糸数公部長から、連携協議会鈴木幹男議長に文書（保健第 434 号）が送付された。連携協議会の提案通り、今後は 3 年ごと

に掲載要件の見直しを行うことになった。

（４） 審議：選定された医療機関に患者を集約するために行うこと（提案） （医療部会）

➡修正意見はなかったが、いくつかの関連分野も含めてのご意見や情報提供があった

◎天野委員から、①医療機関名の公開だけでは患者はイメージがわからないので、「広島県がん医療ネットワーク」の模式図等を参考に分かりやすく周知をした方がよいとのご意見、②東北大学病院の MR リニアックの導入によりへき地の患者の負担が軽減できた事例の紹介

➡①については、連携協議会事務局で検討し、広報の際の参考にいたします。②については、医療部会と離島・へき地部会へ紹介します。

◎西原委員から、離島の外科医療を、がんだけではなく救急医療や非がん患者に対する外科医療も含めて、今後も広く議論をしていってほしい。

➡この点については、今後も医療部会と離島・へき地部会で議論を継続していきます

◎田名委員代理の玉城医師から、離島医療、特に県立宮古病院と八重山病院の医師の充足について、沖縄県医師会の今後の方向性の報告があった

➡今後、医療部会と離島・へき地部会で報告します

<決定事項のその後>

1 検診後の精密検査等を行っている医療機関に対して、「がんと診断した場合は、選定された医療機関へ紹介を促す」依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026 年 1 月 16 日に、対象の 83 医療機関に送付した。

2 県内のすべての医療機関に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ことを理解していただくための依頼文書を送り、協力を依頼する

➡2026 年 2 月 2 日までに対象の 801 医療機関に送付した。

3 県内医療機関でがんの相談支援を行っている部署に対して、「がん医療においては選定された医療機関がある」ということを理解してもらえるように、年に数回ある研修会において、研修に組み込んでもらう。

➡2026 年 3 月 19 日に、県内のがん相談や地域連携に携わっている看護師と医療ソーシャルワーカーを対象に研修会を行った。

4 沖縄県民に対して、

(1) 毎年発行している「おきなわ がんサポート ハンドブック」において、選定された医療機関への受診を促すような文言修正を行い、受診を促す

➡がん診療を行う医療施設一覧のページに、「まずはこれらの施設での診療をおすすめします。」の一文を加えた。(今年度版を配布)

(2) 各地の患者会に対して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡北部医療圏：オストミー協会やんばる友の会

宮古医療圏：まんま宮古、ゆうかぎの会

八重山医療圏：ナネーズ、ナネーズ slow、やいまゆんたく会

の6団体に対して説明を行った。

(3) リレー・フォー・ライフ・ジャパンの開催時に来店して、選定された医療機関を周知するための説明会を行う

➡リレー・フォー・ライフ・ジャパンに参加した方々に説明を行った。

(5) 審議：「がん診療を行う医療施設」の体制整備の要件について(修正案) (医療部会)

◎埴岡委員から、臨床試験等に対する積極的な情報提供をしていることを要件に入れたほうがよいとのご意見

➡体制整備の要件の7「がん遺伝子パネル検査(がんゲノムプロファイリング検査)」と8 臨床試験及び治験の項目に、積極的な情報提供の条件を追加した(令和7年度第2回協議会の審議事項1(5)で報告済)

(6) 審議：がん種ごとの選定条件 (①脳腫瘍(脳・中枢神経系)、②頭頸部(口腔/咽頭/喉頭/鼻腔・副鼻腔/唾液腺)、③甲状腺、④食道、⑤胃、⑥大腸、⑦肝臓、⑧胆道(胆のう・胆管)、⑨膵臓、⑩肺、⑪骨・軟部腫瘍、⑫難治性皮膚がん、⑬乳房、⑭婦人科がん(子宮頸部、子宮体部、卵巣)、⑮泌尿器がん(前立腺、腎、膀胱)、⑯血液腫瘍、⑰小児がん、⑱AYA世代のがん、⑲希少がん、⑳遺伝性腫瘍)
(ベンチマーク部会)

◎平良孝美委員より、認定看護師の名称の間違いの指摘があった。

➡がん薬物療法認定看護師を、がん化学療法看護認定看護師またはがん薬物療法看護認定看護師に変更しました。

◎銘苅桂子 小児・AYA 部会副部長（陪席）からは、小児がんの要件に、妊孕性温存の項目を入れたほうがよいとのことご意見

➡小児がん WG および AYA 世代のがん WG で議論を行いました。その結果、小児がん分野では既に行われているので選定要件には入れない、AYA 世代のがん分野では重要なので選定要件に入れるということになった。

審議事項 2 「第 4 次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について (ベンチマーク部会長)

➡特に協議はなかったので、対応は特になし

<令和 7 年度第 3 回連携協議会（11 月 7 日開催）>

審議事項 1 病棟における学齢期の入院患者への Wi-Fi 無料開放について(要望) (小児・AYA 部会)

原案通り可決された。

➡2026 年 2 月からは、Wi-Fi 無料開放を行っている。

審議事項 2 沖縄県における医療機関の集約化と分散化について（医療部会）

原案通り、可決された。

2026 年 1 月 19 日に、連携協議会鈴木幹男議長から、沖縄県保健医療介護部糸数公部長に、報告書を送付した。

審議事項 3 「第 4 次沖縄県がん対策推進計画(当協議会版)」の進捗状況について (ベンチマーク部会長)

➡特に協議はなかったので、対応は特になし

<令和7年度第4回連携協議会（2月6日開催）>

審議事項1 周術期における口腔機能の管理について（沖縄県歯科医師会）

⇒原案通り可決された。

2026年3月5日に、連携協議会鈴木幹男議長から、がん診療を行っている医療機関24施設に、要望書を送付した。

審議事項2 「第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の中間評価について（ベンチマーク部会）

⇒原案通り可決された。

⇒令和7年度第4回協議会以降に開催された専門部会において、順次中間評価に関する協議を始めている。

<令和8年度第1回連携協議会（5月8日開催）>

審議事項1 「第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会版）」の中間評価について（ベンチマーク部会）

⇒原案通り可決された。

各専門部会において、それぞれの所掌分野について、協議を重ねている。